

2012年7月9日

各位

オリックス不動産株式会社



**『京都水族館』**  
**鴨川の「オオサンショウウオ(交雑種)」の**  
**子ども(幼生)と、両生類の仲間たちの展示を開始**

オリックス不動産株式会社(所在地:東京都港区、代表取締役社長:山谷 佳之)は、2012年3月にオープンした『京都水族館』(京都市下京区観喜寺町35-1(梅小路公園内))において、鴨川の「オオサンショウウオ(交雑種)」の子ども(幼生)と、両生類の仲間たちの展示を2012年7月15日(日)より開始します。

両生類は、魚類の仲間から進化し、生物の進化の中で一番最初に陸上にあがった脊椎動物であると言われています。多くの両生類が湿った皮膚を持つのが特徴で、日本では約70種、世界では約6,700種の存在が知られています。『京都水族館』では、大きさも形態もさまざまな両生類の魅力的な世界をお楽しみいただくため、オオサンショウウオの子ども(幼生)と京都に生息する両生類、そして世界各地の両生類の仲間たちの展示を開始します。

展示ゾーン	: 京の川ゾーン
展示開始日	: 2012年7月15日(日)
展示数	: 約15種約30点
展示生物	: オオサンショウウオ(幼生)、モリアオガエル、カジカガエル、ミナミイボイモリ、マッドパピー、スポットテッドサラマンダー、コビトアシナシイモリの仲間、ピパ、アカメアマガエルなど

## 見どころ①『鴨川の「オオサンショウウオ(交雑種)」の子ども(幼生)を展示』

両生類は、大人(成体)と子ども(幼生)で、著しく体形が異なるという特徴があります。「世界最大級の両生類」と呼ばれるオオサンショウウオ…その子ども(幼生)は一体、どのような姿をしているのでしょうか。『京都水族館』では、鴨川で採取し、一時的に保管をしているオオサンショウウオ(交雑種)の生後約1年の子ども(幼生)と、生後約3年の子ども(幼生)のオオサンショウウオの展示を開始することになりました。大人(成体)とは違ったかわいらしい子ども(幼生)のオオサンショウウオ…その姿かたちを比べることで、オオサンショウウオの生態について、より深く理解することができます。



オオサンショウウオの子ども(幼生)



オオサンショウウオの子ども(幼生)

## 見どころ②『カジカガエルなど、京都にゆかりのある両生類を展示』

水が豊かで、湿度が高い日本では、オオサンショウウオを含む約70種の両生類の存在が知られています。『京都水族館』では、身近な自然に生息する両生類の魅力も知ってもらうため、主に本州に生息し、京都で見られる両生類(森に生息する「モリアオガエル」、鳴き声が美しい「カジカガエル」など)を展示します。小さな両生類たちのかわいい姿をお楽しみください。



モリアオガエル



カジカガエル

## 見どころ③『カラフルなカエルやかっこいいイモリなど、世界の両生類を展示』

世界では約6,700種の両生類の存在が知られています。日本に生息する両生類と比べて、どのような違いがあるのでしょうか。『京都水族館』では、カエルやイモリ、サンショウウオなど、海外に生息する両生類を展示します。世界各地でそれぞれの環境に適応した両生類の姿をお楽しみください。



ミナミイボイモリ



マッドバピー

## 見どころ④『両生類の3つのグループが大集合』

両生類は、イモリやサンショウウオなど、長い尾を持つ「有尾目」、オタマジャクシからカエルに変態をすると尾がなくなる「無尾目」、そして足が無くミズのような形をした「無足目」の3つのグループに分類されます。『京都水族館』では、「有尾目」「無尾目」「無足目」を一同に展示します。両生類の3つのグループを観察することで、それぞれの環境に適応するために様々な姿かたちに進化した両生類の多様性を知ることができます。

※展示内容は予告無く変更する場合があります。プレスリリース内の画像はすべてイメージ写真です。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

オリックス不動産株式会社 水族館事業部 橋本・奥村・久保田 TEL:075-354-3116

### <お客様からのお問い合わせ先>

京都水族館 TEL:075-354-3130(9時~17時) FAX:075-354-3170

公式ホームページ <http://www.kyoto-aquarium.com/>

〒600-8835 京都市下京区観喜寺町 35-1(梅小路公園内)